

授業概要

社会調査実習Ⅰでは、社会調査の基礎的な手順を学んだ。社会調査実習Ⅱでは、社会調査実習Ⅰでの報告結果を踏まえながら、社会調査での一連の手順、すなわち、調査設計（先行研究の収集）、仮説と目的の設定（先行研究分析）、標本抽出（サンプリング）、調査票の作成、調査の実施、データ入力、単純集計、データ解析、報告書の作成の順に講義を進めていく。本年度は、青年の行動心理について調査を実施する。なお、本講義は、社会調査実習Ⅰを事前に履修しておく必要がある。

授業計画

第1回	初回オリエンテーション（調査の企画・前回調査の問題点の整理等）
第2回	文献の収集（新しい資料の追加収集）
第3回	調査票の作成（1）（先行研究の検討を含む）
第4回	調査票の作成（2）項目案を考える
第5回	調査票の作成（3）
第6回	予備調査（プリテスト）
第7回	予備調査の検討
第8回	本調査の実施
第9回	データ入力
第10回	スクリーニングとデータ解析（1）
第11回	データ解析（2）
第12回	データ解析（3）
第13回	報告書の作成（1）
第14回	報告書の作成（2）
第15回	まとめ
第16回	報告書の印刷と提出

到達目標

調査設計（先行研究の収集）、仮説と目的の設定（先行研究分析）、標本抽出（サンプリング）、調査票の作成、調査の実施、データ入力、単純集計、分析（相関、クロス集計（ χ^2 検定）、平均の差の検定（t検定等）、尺度の信頼性・妥当性の検討、因子分析）、までを全員が体験し報告書の完成を目指す。

履修上の注意

- ・本講義は、社会調査士の取得に関する科目です。事前に社会調査実習Ⅰを履修すること。
- ・グループで作業を行うことが多いため欠席や遅刻はメンバーに多大な迷惑をかける。十分注意すること。
- ・受講態度の悪い学生（実習に参加しない学生）には、退出を求めます。
- ・各回の課題を確実にまとめていくこと。
- ・調査票の作成、調査の実施、レポート作成時など講義外での作業が求められます。

予習復習

- ・授業外学習として、各回の課題を確実に実施していくことが求められます。
- ・秋期での統計処理は、 χ^2 検定に加え、相関や平均の差の検定、因子分析を行うので、事前学習が望まれる。

評価方法

授業中の平常点（意欲、関心、授業態度 20%）と、提出課題の内容（80%）によって評価する。

テキスト

- ・教科書名： SPSS 統計解析マニュアル
- ・著者名：米川和夫（他）
- ・出版社名：北大路書房
- ・出版年（ISBN）：2010年（ISBN-10: 4762827061）
- 参考書：篠原清夫（他）編（2010）、社会調査の基礎 弘文堂